

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



五稜郭タワー(展望台)

No. 151 函館商工会議所報
1994 — 4月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 -1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 -3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 -6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 -1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 -6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 -2151(代)
五稜郷支店	函館市本町30番24号	TEL 52 -0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 -2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 -3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 -2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 -5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 -1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 -5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート
ローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ4月号(通巻151号) 目次 ●

今月の表紙／視点……………1
 会議所の動き……………2～5

・平成六年度事業計画・収支予算決まる

・(平成五年度)青函圏特別委員会合同会議

・函館経済団体協議会等を開催

・ユジノサハリンスク航空路開設

・函館圏優良土産品推奨会開催

P・Rコーナー……………6

調査レポート……………6～9

・地域の景気 金融経済概況 (一月)

・市内第一種大規模小売店舗売上高 (二月)

・平成四年 工業統計調査結果概要

誌 上 講 演……………10～11

・エイズと企業 予防と対策 (9)

・人を活かす **相談の効用**

共済推進コーナー……………12

ティータム……………13

・暮らしのワンポイント

・さわやか君

・有段を目指して 詰碁・詰将棋

アドバイスコナー……………14～15

・上杉鷹山に学ぶ経営戦略 (1)

Q & A……………16～17

・みんなの相談室 **税務相談**
※労務相談

ご 案 内……………18～20

・新会員ご紹介

・会員サービス事業・新規契約施設のご案内

・海外視察旅行等に関する調査のお願い

・検定試験のお知らせ

・複式(商業)簿記実務講座

・ご利用下さいノ本所の個別専門相談

◇今月の表紙

五稜郭タワー(展望台)

明治元年(一八六八年)から明治二年にかけて箱館戦争の舞台となった五稜郭(国指定の特別史蹟)。その五稜郭の雄大な星形城郭を一望できる観光施設として知られる「五稜郭タワー」は、昭和三十九年十二月一日に建てられた。

施設は、高さ四十五メートルにある展望台をはじめとして、箱館戦争や五稜郭をわかりやすく紹介する史蹟館などが設けられており、特に展望台からは、城郭を中心に函館港や市街地、さらには駒ヶ岳や恵山などの美しい風景が眺望でき、毎年、函館を訪れる観光客で賑わいをみせている。

視 点

今月より新しい会計年度が始まりました。

大雪と厳しい寒さが訪れた冬も既に去り、日差しも一段と暖かさを増し、降った雪もすぐとけてしまう春の季節を迎えました。あと一月もすれば桜も満開のことでしょう。

所で、今春雪がとけて一番先に眼についたものは、道路に残っていた白線ではなかったかと思えます。交通量の多い所では、削られて少々薄くなった所もありましたが、殆んど消えてしまっていた昨年春とは異なり、そのままでも標識として役立っている位です。また、雪どけとともに、道路端にたまる粉じんも、間違いなく少量でした。

このことは、昨年四月からのスパイクタイヤ規制の効果に間違いなく考えます。昨冬もスパイクタイヤを使用している車もありましたが、完全に少数派となったことで、道路表面の削られかたが、格段に少なくなったことを証明しているといえます。

その一方で、スパイクタイヤの使用禁止による接触事故が増えているとのことです。冬期間、積雪寒冷の北海道では、夏と同じような態度で運転することは、危険極まりないことで、冬は冬なりのタイヤに見合った運転が必要なことは、申し上げる迄もないことです。

この春の道路状況を見ると、やはりスパイクタイヤは禁止して良かったという感じがします。今月からは労働時間も原則四十四時間となることもあり、休日の遠出には「急がずゆっくり行こう北海道」でまいりましょう。

平成六年度
事業計画・収支予算決まる

本所第九回総務委員会、第十回常議員会、並びに第五回通常議員総会は、去る三月七日、三月十八日、及び三月二十九日それぞれ本所会議室において開催されました。

まず、第十回常議員会では、常議員等十五人が出席し、第九回総務委員会において審議、了承された本所平成六年度の事業計画並びに収支予算等を審議し、原案どお

り通常議員総会に提出することとしたほか、就業規則及び給与規程の一部改正と新会員の加入について、それぞれ議決しました。

次に、第五回通常議員総会は、七十三人（うち委任出席三十一人）が出席し、開催されました。

総会では、若林会頭の開会挨拶の後、議事に入り、報告事項に引き続き附議事項の三議案を審議し、いずれも原案どおり決定しました。その概要は次のとおりです。

■平成六年度事業計画大綱

- 1 青函インターブロック交流圏構想の推進
 - 2 高速交通体系の確立と函館港の整備促進
 - 3 第二期テクノポリス函館構想と企業誘致の推進
 - 4 地元中小企業対策の推進と観光資源の整備促進
 - 5 国際交流の推進と人材の育成確保
- を中心に、函館市との連携を保ち

つつ、諸施策、諸事業を積極的に推し進め、函館経済の活力増進として拡大充実を図るとともに、北東北、特に青森、弘前、八戸の諸都市、並びに道南地域の各経済団体との連携を深め、札幌圏、仙台圏の中間に、第四次全国総合開発計画に示された北日本第三の経済文化圏を形成するため努力を重ねていくことになりました。

▼平成六年度事業計画

I 地域振興対策

- 1 青函インターブロック交流圏構想の推進
- 2 テクノポリス函館計画及びテレポートピア構想に基づく事業の推進
- 3 盛岡・青森間新幹線の早期完成、青森・函館間の早期着工と同時開業
- 4 北海道縦貫自動車道の七飯側からの工事開始と新外環状線の早期建設
- 5 函館港の整備促進
 - ・大型公共埠頭の早期建設
 - ・客船埠頭計画の促進
 - ・ウォーターフロント地区の早期整備

- ・コンテナヤード計画の促進
- 6 函館空港の整備充実
 - ・滑走路三千メートル工事の早期完成
 - ・地方基幹空港との新路線の開設計
 - ・CIQ体制の確立と国際定期便の就航
 - ・空港ビルの拡張整備

- 7 函館駅前地区再開発などの早期実施と大規模イベント施設建設の調査研究
- 8 国立函館大学の設置促進及び技術教育の拡充整備
- 9 道立工業技術センターの活用による技術水準の向上と新技術の開発
- 10 都市計画の抜本的見直し並びに新工業団地の早期建設、企業誘致の促進
- 11 国際チャーター便就航推進組織の確立等による国際交流の増進

II 商工業の振興

- 1 関連する税制並びに法規等の調査研究及び活用
- 2 中小企業振興対策
- ・地場工業の振興と技術向上対

会 議 所
の 動 き

策の推進

- ・中小企業の近代化、高度化対策の推進と各種融資制度の活用促進

- ・函館地域特定中小企業集積活性化計画などの推進

- ・小売商業振興ビジョンによる振興策の推進

- ・商業活動に対する適正な調整と中小企業の新分野への進出支援

- ・諸刊行物による経済情報の提供及び収集並びに魅力ある地元企業の紹介

3 小規模事業対策

- ・相談指導体制の充実強化
- ・講習会、講演会開催等による小規模企業育成、強化策の推進

- ・小企業等経営改善資金など融資制度の運用拡大

- ・経営安定化のための各種制度及び施策の普及促進等

4 観光振興対策（新函館市観光基本計画の推進）

- ・観光資源、観光基盤の整備促進

旧函館支庁庁舎の早期復元、

旧ロシア領事館の復元促進、

- 西部地区の景観、街なみの保存と活用、箱館奉行所の復元計画の策定

- ・観光通年化対策など観光客増加対策の推進と受入れ体制の充実強化

- ・広域観光圏確立のため関係団体の協調体制の拡大推進

- ・函館・大沼リゾート地域整備構想の推進

- ・各種行催事への積極的参加及び新観光土産品等の開発、啓発強化

- 5 青森、鹿児島両商工会議所並びに道南各経済団体との提携強化

- 6 亀田、銭亀沢両商工会と市内経済団体統一に向けての協議

推進

Ⅲ 函館商工会議所運営の充実強化

- 1 会員サービス事業の充実強化と新会員の募集及び口数の拡大

- 2 部会、委員会活動等の活発化

- 3 生命、退職金、個人年金共済等各種共済事業への加入拡大

促進

4 創立百年記念事業の具体的推進

- 5 会議所報「ともえ」の効率的活用

▼平成六年度収支予算

平成六年度の事業計画を推進するための収支予算は、総額三億二千五百十万円と決定しましたが、このうち事業費は六千三百六十万円で、活発な事業展開が期待されています。

▼運営資金借入限度額について

運営資金借入限度額については、前年度同様、三千万円とすることが承認されました。

平成五年度 青函特別委員会合同会議

函館・青森両商工会議所青函

特別委員会の合同委員会が、三月十日に青森グランドホテルで開催され、本所からは若林会頭・柳沢委員長はじめ五名が、また青森側からは田中副会頭・中山委員長はじめ九名の委員が出席しました。会議では①国際定期開設について②中国天津との交流について

③青函圏特別委員会の今後の進め

方について活発な意見交換が行われ、国際定期便の利用者確保のために、双方が協力しあうことが確認されたほか、中国天津との交流については、五月二十八日から開催される中国天津交易会に青森商

工会議所が参加するにあたり、函館側からも参加者を募ることとなりました。

函館経済団体協議会等を開催

本年度の第二回函館経済団体協議会（本所・亀田・銭亀沢両商工会で構成）が、去る三月二日、五島軒駅前店で開催されました。

会議では、事務局より、この程通産大臣へ答申された改正大店法の見直しの概要などについて説明がなされた後、市商工観光部古川課長より、函館市の小売商業振興対策などについて説明を受けました。

また、経済団体問題研究会が去る三月十五日、本所において開催され、市内経済三団体の関係する諸問題の調査研究に向けて、本格的に始動を開始しました。

ユジノサハリンスク航空路開設 函館空港が国際空港へ

函館～ロシア・ユジノサハリンスク間に定期航空路が開設され、去る四月四日に第一便が就航、名実共に函館空港が国際空港となりました。

- ・ 就航したのは、アエロフロート
- ・ ロシア国際航空のアントノフ24



▲サハリン州からの代表団を乗せ到着した第一便(左)
就航記念式典で挨拶を行う若林会頭(右)

で、乗客定員三十二人のプロペラ機を週二往復(月・木)することになっており、第一便では、サハリン州の代表団ら約三十名が函館空港に到着しました。第一便の乗客を迎え、函館空港国際線ターミナルビルでは就航記念式典が行われ、乗客代表にミスはこだてから花束が贈られると共に、横路北海道知事(代理)、木戸浦函館市長が歓迎の挨拶を行いました。夕方には、会場を函館ハーバー

より良い安心のせてる商品で！ 函館圏優良土産品推奨会開催

本格的な観光シーズンを前に、道南地域を代表する優れた観光土産品を発掘、育成すると共に、当地域を訪れる観光客に「より良い安心のもてる商品」を提供するため、去る三月二十四日、「第三十八回函館圏優良土産品推奨会」が

ビューホテルに移し、函館空港国際化推進協議会(会長・本所若林会頭)の主催により、就航記念祝賀会が三百人を超す出席者のもとで、アトラクションなどを交え、盛大に開催されました。

一方、第一便の折返し便では、函館側からのサハリン訪問団の歓迎式が、函館空港で行われ、乗客全員並びに機長・スチュワーデスに記念品が贈られました。

なお、四月四日の就航に先立ち、昨年八月より建設を進めていた函館空港国際線ターミナルビルは、三月に竣工、三月三十日には、竣工式典並びに竣工祝賀会が、同ターミナルビルで行われました。

第38回函館圏優良土産品推奨会 受賞商品一覧

賞 名	品 名	企 業 名
函 館 市 長 賞	網元 秘 造 り (正油漬) の 砂	久二野村水産(株) 野精
函館商工会議所会頭賞	「北の匂セット」TF-Q2シリーズ元町マリンハウスのスコーン詰合	(株) 竹田 田一 食品
みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会会長賞	ち ょ う ち ん 徳 利 し ゚ ょ っ ぱ い 川	(株) 渡辺 迎水 商店
みなみ北海道広域商工振興連絡協議会会長賞	紅 鮭 ト パ みのぞの舞 酒まんじゅう	(株) 三洋 洋末 食品
奨 励 賞	本 数 の 子 山 海 焼 の 浜 焼 函館朝市生ラーメン(スープ付・5食入) 生チョコレート石の道 きこないみそぎパイ 浮かぶキャンドル(フローティング・キャンドル)	(株) 竹田 田一 食品 (株) 渡辺 迎水 食品 (株) 三洋 洋末 食品 (株) 渡辺 迎水 食品 (株) 三洋 洋末 食品

この審査で合格した商品に民芸品を加え、更に郷土色、包装デザイン、価格、味覚等について審査が行われ「函館圏優良土産品」が選定されました。
また、特に優秀な商品として、次の十四品にそれぞれ各賞が授与されました。



事務局日誌

3月

* 正副会頭会議

- 7月 第58回正副会頭会議
- 24日 第59回正副会頭会議

* 総会

- 29日 第5回通常議員総会

* 常議員会

- 18日 第10回常議員会

* 委員会

- 7月 総務委員会
- 10日 平成5年度青函園特別委員会合同会議

* 会議(道商連)

- 3日 会頭・副会頭会議
- 〃 第114回常議員会
- 〃 第112回通常会員総会

* 審査会

- 11日 小企業等経営改善資金審査会

* 諸会議

- 1日 平成5年度みなみ北海道観光連盟事務担当者会議
- 2日 第16回湯の川温泉街活性化推進懇談会
- 〃 平成5年度第2回お茶の会
- 〃 平成5年度第2回函館経済団体協議会
- 3日 (株)函館観光協会平成5年度第5回理事会
- 〃 平成6年度汚染負荷量賦課金及び拠出金の業務委託商工会議所担当者研修会
- 〃 地ビール説明会
- 5日 第1回函館駅周辺整備計画調査委員会
- 8日 函館空港連絡協議会
- 9日 はこだて冬のイベント実行委員会第2回事業部会
- 11日 マル経営委員と国民金融公庫との懇談会
- 14日 連合北海道函館地区連合会による労働者の労働条件等改善に関する要請
- 15日 経済団体問題研究会
- 〃 はこだて冬のイベント実行委員会第2回資金造成部会
- 〃 北海道新幹線建設促進期成会平成5年度第6回幹事会
- 16日 北海道高齢者雇用推進協議会
- 〃 65歳継続雇用地域推進事業函館地区推進会議
- 〃 65歳継続雇用地域推進事業に係る先進地視察
- 17日 はこだて冬のイベント実行委員会第2回総務部会
- 18日 第1回函館生鮮食品小売業活性化指針策定協議会
- 〃 日本商工連盟函館地区連盟理事懇談会
- 19日 婦人会3月例会(講演会)
- 22日 就職情報誌「イアラ」打合せ会議
- 〃 所報「ともえ」4月号 No.151編集会議
- 〃 函館空港国際化推進協議会総会事前打合せ
- 〃 北海道電力(株)社長泉誠二氏との懇談会
- 23日 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
- 〃 第22回函館地域電力懇談会
- 〃 函館空港国際化推進協議会
- 24日 函館市人材確保推進協議会第4回幹事会
- 〃 カーボンシティ函館建設推進委員会
- 〃 ~25日 コンベンション・ビューロー関係視察
- 25日 北海道コンピューター航空推進協議会第9回幹事会
- 〃 「コンピューター航空」3合同研究会
- 〃 函館地域技術担い手づくり推進協議会
- 28日 働テクノポリス函館技術振興協会理事会

- 29日 日本商工連盟函館地区連盟会員大会
- 30日 函館デザイン交流会
- 〃 平成5年度第4回振興委員連絡会議
- 〃 はこだて冬のイベント実行委員会
- 〃 函館市都市景観委員会
- 〃 平成6年度第1回緑化審議会
- 31日 平成6年度第1回函館市西部地区歴史的街並み資金運営委員会
- 〃 函館市企画部との函館〜ユジノサハリンスク間国際定期便就航記念式典に関する打合せ会議
- 〃 平成5年度地域懇談会(主催・明日の北海道を考える会)

* 講習・催物

- 9日 経営相談
- 〃 企業における製造物責任とその予防対策セミナー(P.L法の概要)
- 10日~15日 第3回沖繩の観光と物産展
- 15日 改正特許・実用新案法説明会
- 16日 発明相談
- 24日 新入社員セミナー(事務系)
- 25日 新入社員セミナー(営業系)
- 〃 法律相談

* 刊行物

所報「ともえ」3月号 No.150

* 相談・診断

金融 100 税務 323 経理 7 経営 77 労働 0
取引 0 その他 1 合計 508

* 貸室 12

* 文書受信 171 発信 20

* 慶弔・その他

- 2日 (株)西武北海道函館西武常務取締役店長八重樫和仁氏転任挨拶
- 〃 明治生命本社北海道ブロック担当常務取締役宮崎氏表敬訪問
- 3日 平成5年度函館ソフトウェア専門学校卒業式(会頭賞の伝達)
- 5日~6日 青函海底映画祭
- 7日 黒石商工会議所会頭中村勝治氏表敬訪問
- 〃 中日本エアライン営業部営業課長岩瀬正明氏表敬訪問
- 9日 兼松(株)ジェットストリーム41型機展示飛行
- 〃 函館バス(株)代表取締役社長原博昭氏来所
- 〃 北海道電力(株)函館支店支店長伊藤三雄氏表敬訪問
- 12日 鈴木よね様の米寿を祝う会
- 14日 日本道路公団函館工事事務所長竹内孝光氏来所
- 〃 日本銀行函館支店調査主任肥後秀明氏来所
- 〃 中小企業金融公庫函館支店支店長西野靖夫氏転任挨拶
- 15日 東邦生命保険相互会社旧函館支店支店長大龍敏氏転任挨拶、新支店長山内喬氏着任挨拶
- 16日 第26回函館大学卒業式
- 〃 卒業記念パーティー
- 18日 函館日米協会出版記念会、レセプション
- 〃 東日本フェリー(株)函館支店支店長佐藤氏来所
- 23日 日本通運(株)函館支店支店長小正幸氏来所
- 〃 函丸井今井(株)函館支店常務取締役支店支店長東口昭氏来所
- 24日 JTB函館支店支店支店長池田清光氏着任挨拶、旧支店支店長庄司忠逸氏転任挨拶
- 〃 北海道新聞函館支店支店支店長坂田幸治氏着任挨拶
- 25日 函館工業高等専門学校校長伊藤英治氏退任挨拶
- 〃 日本団体生命保険(株)北海道営業局長堀田氏並びに鈴木部長転任挨拶
- 28日 三菱商事(株)北海道支社長参り伊藤裕康氏函館営業所撤退挨拶
- 29日 ホテル函館ロイヤルリニューアルオープン披露
- 30日 函館空港国際線ターミナルビル竣工式典、竣工祝賀会

累計)は、北海道南西沖地震に係る災害復旧工事の発注を主因に、前年比プラス26.7%と高い伸びを示した。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(2月)は、貸家の減少からマイナス1.6%と僅かに前年を下回ったものの、持家は好調を継続している。この間、建設業者では、公共工事の順調な発注、住宅投資の堅調から繁忙感を継続している。

(5) 漁業

スケトウ漁(10月~2月)は、桧山では好漁だったものの、渡島での低調な水揚げが響き、管内全体では水揚げ量、金額とも前年を1割方下回り終漁した。噴火湾ホタテ漁(12月~3月)は、漁期入りの遅れ等から2月までの水揚げ量は伸び悩んだものの、3月に入ってから前年並みの水準にまで持ち直している。

(6) 消費関連

2月の市内大型小売店(10店ベース)の売上高は、食料品、身の回り品等が小幅な落込みに止まったものの、主力の衣料品が不冴えであったことから、前年比マイナス3.3%と18カ月連続の前年割れとなった。耐久消費財では、家電販売が白物家電を中心に引続き前年並みの売上を確保しているが、2月の新車自動車販売は、小型車、大衆車の不振から前年比マイナス9.4%と3カ月連続して前年を

下回った。この間、観光・レジャー面をみると、低価格ツアー利用客の増加が引続きみられていることから、市内ホテルの宿泊客数が前年比プラス15.7%と4カ月連続して前年を上回ったほか、函館山ロープウェイ等主要観光施設の利用客数も引続き前年を上回っている。もっとも2月の函館空港乗降客数は欠航便の増加により、前年比マイナス0.5%と5カ月振りに僅かながら前年を下回った。

3.金融事情(2月中)

実質預金をみると、一般預金は企業の資金効率化を企図した取崩しが続いていることから、依然低調裡に推移したものの、公金預金の減少額が前年に比べ小幅に止まったため、前年の59億円減少から月中34億円の増加となった。一方、貸出しは、景気停滞を背景に引続き資金需要が低調であり、前年の18億円増加に対して月中54億円の減少となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長・短期ともに低下し、全体としては月中マイナス0.061%低下した。

銀行券は、月中14億円の発行超となり、前年の5億円発行超を僅かに上回った。

財政収支は、公共工事の支払い進捗を主因に、月中1億円の受超と前年の32億円受超に比べ受超額は縮小した。

P・R

事業主の皆様へ
パートタイム労働者に対する雇用保険の適用基準が改正されました

4月1日からの労働基準法の改正による週40時間制の実施等に伴い、パートタイム労働者(1週間の所定労働時間が同一事業所に勤める通常の労働者よりも短かく、かつ、40時間未満の者)の1週間の所定労働時間の範囲が下記のように改正されました。

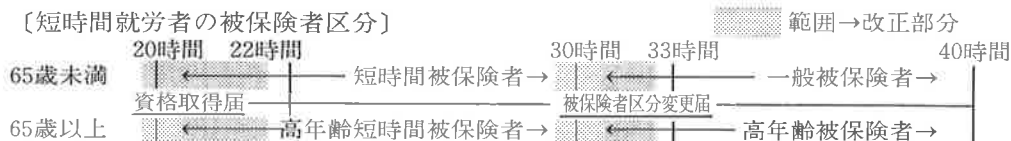
- 1. 改正前 22時間以上33時間未満の労働者
- 2. 改正後 20時間以上30時間未満の労働者

なお、今回の改正に伴い、週所定労働時間が30時間以上33時間未満の者については「被保険者区分変更届」を、20時間以上22時間未満の者で、下記の要件にも該当するときは「資格取得届」を提出して下さい。

〈パートタイム労働者が雇用保険の被保険者となる要件〉

- ① 1週間の所定労働時間が20時間以上であること。
- ② 1年以上引続き雇用されることが見込まれること。
- ③ 年収が90万円以上と見込まれること。

[短時間就労者の被保険者区分]



(65歳前から引続き同一事業主に雇用されている方に限ります。65歳以降に雇用された方は被保険者とはなりません。)

詳細については、函館公共職業安定所雇用保険適用課得喪係(☎26-0735)へ

地域の景気

金融経済 概況 2月

(平成6年3月29日発表)

日本銀行函館支店

1. 概況

管内経済は、公共投資の発注が順調に推挙しているほか、住宅投資が堅調を持続、また冬場の観光客の入込みもますますであったことから、非製造業を中心に企業マインドの好転が幾分みられるものの、ウエイトの高い個人消費が大型小売店売上、新車自動車販売等の不芳からいまだ不冴え裡に推移しており、設備投資も弱く、景気全体としては停滞基調を脱していない。

すなわち、製造業では、水晶振動子が移動体通信関連の需要高伸により、また、セメントが官公需、外需の好調を背景に、ともにフル生産体勢を持続しているほか、半導体、合板機械、造船も高水準の操業を続けている。また、水産加工品の売上は、低価格商品を中心にやや持ち直している。これに対して、水産加工機械の売上は低水準に止まっているほか、製缶機械の生産も抑制姿勢が続いている。

一方、非製造業では、2月の市内大型小売店の売上は、食料品、身の回り品等が小幅な落込みに止まったことから前月に比べマイナス幅がやや縮小したものの、18カ月連続の前年割れとなっている。また、耐久消費財では、家電販売が前年並みの売上を確保したが、新車自動車販売は3カ月連続して前年を下回った。この間、観光客の入込みをみると、低価格ツアーの利用客の増加が引続きみられたことから、2月の市内主要ホテル宿泊客数が4カ月連続して前年を大幅に上回った。

漁業では、スケトウ漁は渡島での低調な水揚げが響き、管内全体では水揚げ量、金額とも前年を1割方下回り終漁。噴火湾ホタテ漁は、漁期入りが遅れたものの、3月入り後は

前年並みの水揚げ量にまで持ち直している。

こうしたなか、2月に実施した短期経済観測調査における管内企業の業況判断をみると、製造業は個人消費関連を中心に前回よりも悪化したものの、非製造業が観光客の入込み持ち直しを映じてサービスを中心に前回よりも改善したため、全産業でも幾分改善した。先行き6月までについては、製造業、非製造業ともにほぼ横這いを予想している。

2月の金融動向をみると、企業の資金需要が引続き弱く、預金、貸出しとも総じて低調な推移となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は引続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械・電子部品

水晶振動子が、国内外ともに移動体通信関連の需要が好調であることから、下請先も含めフル生産体勢を継続しているほか、造船も新造船の受注残消化に加え、橋梁、官庁船修繕の年度末納期を控えて、ほぼフル生産体勢となっている。また、半導体は、米国向け4MDRAMの需要好調から、合板機械は豊富な受注残の消化により、それぞれ高水準の操業を維持している。一方、水産加工機械は、加工業者の抑制的な設備投資姿勢を映じて売上が低水準に止まっているほか、製缶機械も飲料品需要低迷が響き、抑制的な生産体勢を続けている。

(2) 食料品

水産加工は、生鮮珍味が引続き順調な売行きを示しているほか、乾燥珍味でも低価格品を中心にやや動きがみられたことから、全体の売上は8カ月振りに前年を上回った。また、飼料の売上は引続き低調ながら、魚油の売上は増加している。

(3) その他製造業

セメントは、官公需、東アジア向け外需の好調によりフル生産体勢を続けているほか、生コンも災害復旧工事向けを中心に高水準の出荷を持続している。また、段ボールの生産・出荷は、加工食品向けが順調であり、引続き前年を上回っている。一方、合板は、家具等消費財向け需要の低迷や安値代替品との競争により、抑制的な生産体勢を続けているほか、漁網の受注・生産も需要の低迷から引続き低調に推移している。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注額（2月末

函館市産業中分類前年比較表(従業員4人以上)

(単位:人、万円、%)

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	3年	4年	前年比	3年	4年	前年比	3年	4年	前年比
総 数	619	598	96.6	13,648	13,703	100.4	29,124,976	29,335,565	100.7
食 料 品 製 造 業	226	216	95.6	6,391	6,638	103.9	11,696,089	11,771,084	100.6
飲料・飼料・たばこ製造業	13	12	92.3	410	396	96.6	6,744,338	7,031,664	104.3
織 維 工 業	20	17	85.0	369	378	102.4	475,369	379,268	79.8
衣服・その他の繊維製品製造業	15	15	100.0	229	208	90.8	106,755	90,602	83.3
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	19	19	100.0	407	412	101.2	793,224	851,377	107.3
家具・装備品製造業	44	40	90.9	354	322	91.0	362,158	360,069	99.4
ハルブ・紙・紙加工品製造業	10	10	100.0	165	167	101.2	444,022	452,346	101.9
出版・印刷・同関連産業	72	71	98.6	930	899	96.7	1,496,278	1,448,834	96.8
* 化 学 工 業	7	7	100.0	194	203	104.6	553,380	597,810	108.0
* 石油製品・石炭製品製造業	1	1	100.0	X	X	X	X	X	X
プラスチック製品製造業	4	4	100.0	73	71	97.3	178,619	186,179	104.2
ゴ ム 製 品 製 造 業	7	5	71.4	212	166	78.3	134,648	114,694	85.3
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
* 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	18	16	88.9	219	227	103.7	368,361	364,006	98.8
* 鉄 鋼 業	7	7	100.0	168	170	101.2	421,098	340,206	80.8
* 非 鉄 金 属 製 造 業	2	2	100.0	X	X	X	X	X	X
* 金 属 製 品 製 造 業	51	55	107.8	611	631	103.3	1,000,708	1,072,057	107.1
* 一 般 機 械 器 具 製 造 業	47	48	102.1	737	727	98.6	1,274,924	1,259,687	98.8
* 電 気 機 械 器 具 製 造 業	11	11	100.0	900	846	94.0	734,610	740,160	100.8
* 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	18	16	88.9	1,036	1,010	97.5	2,086,677	2,015,222	96.6
* 精 密 機 械 器 具 製 造 業	4	4	100.0	69	66	95.7	74,592	73,086	98.0
そ の 他 の 製 品 製 造 業	23	22	95.7	155	147	94.8	156,245	161,257	103.2

注) 表中の記号「-」は該当数字がないもの、「X」は数字が秘匿されているもの。

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成6年2月

品 名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,153,637	61.5	93.8
身 の 回 り 品	548,439	66.8	101.2
雑 貨	733,508	92.8	96.8
家 庭 用 品	521,192	80.5	99.8
食 料 品	1,701,938	100.5	98.3
食 堂 ・ 喫 茶	131,531	71.5	94.6
サ ー ビ ス	61,819	83.9	73.5
そ の 他	362,422	63.1	102.4
総 計	6,214,486	75.0	96.7

統計資料

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

平成 4 年

工業統計調査 結果概要

函館市では、このほど「平成4年工業統計調査」（指定統計第10号、函館市分）結果をとりまとめました。

この調査は、通商産業省が全国の製造業を対象に事業所数、従業者数、製造品出荷額、付加価値額などを調査し、製造業の構造及び生産に係わる諸活動の実態を明らかにするため、明治42年以来、毎年12月31日現在で実施しているものです。

以下、従業者4人以上の事業所を対象とした結果の概要についてお知らせします。

市内の事業所数は 598事業所で前年（3年）に比べて21事業所 3.4%減少しましたが、従業者数は13,703人で同55人、0.4%の微増、製造品出荷額は 2,933億 5,565万円で同21億 589万円、0.7%の微増となっています。

業種別にみると、当市基幹産業の水産加工業を含む「食料品製造業」が事業所数で 4.4%減少しましたが、従業者数では 3.9%の増加、製造品出荷額が 0.6%の微増となっており、同業種出荷額の全体に占める割合は40.1%で前年（40.3%）をわずかに下回っています。またこれを含む軽工業全体では、事業所数 431で前年より22事業所、4.9%の減少、従業者数は 9,804人で、同 109人、1.1%の増加、製造品出荷額が 2,284億 7,574万円で、同25億 7,829万円、1.1%の増加となっています。

次にもう一方の当市主要産業である造船業

を含む「輸送用機械器具製造業」は事業所数、従業者数、製造品出荷額ともに前年より減少しており、出荷額全体に占める割合も 6.9%と前年（7.2%）を下回っています。またこれを含む重化学工業全体では、事業所数 167で同 1事業所、0.6%の増加、従業者数3,899人で、同54人、1.4%の減少、出荷額 648億 7,991万円で、同 4億 7,240万円で、同 1.7%の減少となっています。

※ 文章、グラフ中の軽工業、重化学工業の区分は右表産業中分類の*印項目により分類、合計しています。（*印：重化学工業）

図-1 事業所数の推移

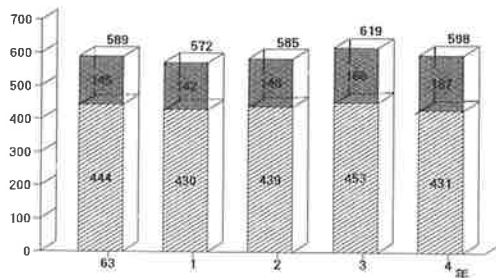


図-2 従業者数の推移

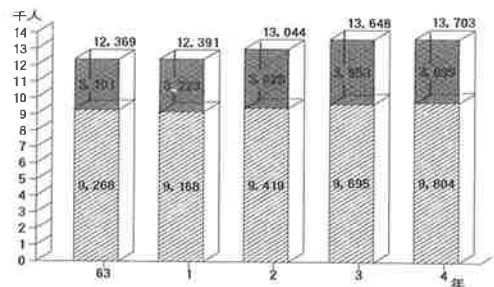
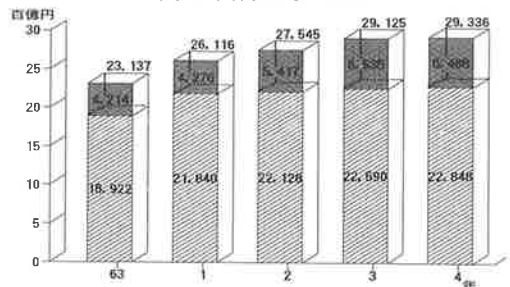


図-3 出荷額等の推移



□ 軽工業 ■ 重化学工業

意識調査のやり方②



エイズと企業 — 予防と対策 — (9)

エイズ予防財団 専務理事
医学博士 山形 操六

◆意識調査の項目◆ (前号の続き)

- ③HIVの感染原因について
HIVの感染経路は、(1)性行為、(2)血液感染、(3)母子感染の三つが主なものである。設問では、わが国で最も多いものに○印をつけよ、というようにするのがよろしいと思う。確率は大変低いが、針刺し事故で医療従事者が感染する事例もあったので、設問に加えてもよい。
- ④日常生活でのHIVの感染機会は？

HIVは現在までの研究によれば、血液、精液、膣分泌液の三つが実質的な感染源であって、その他の体液では母乳を除いて感染源となる可能性はまずないとされている。したがって、日常生活では感染の心配はないわけなので、具体例を列記して設問してほしい。

例えば、せきやくしゃみ、握手、プール、つり皮・手すり、同じ食べ物をつつく、お金のやりとり、理・美容院、蚊、ハエ、トイレ、公衆電話、カラオケマイク、湯飲みやコーヒーカップの共用、着替え用のロッカーの共用等。

⑤職場のエイズ対策として適切なもの、不適切なもの
例えば、以下の設問の中で適切なものには○、不適切なものには×印をつけよ。

- ・社員全員にエイズ血液検査を行い、誰がHIVに感染しているのかをはっきりさせておく。
- ・新入社員には全員エイズ検査を行い、HIV感染者の入社を拒否するようにする。
- ・仕事上のスキンシップでは、HIV感染しないことを全社員に理解してもらうように努める。
- ・HIV感染者だけを集めて同じ部屋で働いてもらう。

このような設問も有効と思う。なお、この種の設問と理解度の研究をすすめている下記の指導を受けられることをおすすめする。

メディカルサポート
研究所・福沢恒利氏
☎ (03)3238-7845

つづく

【山形操六(やまがた・そうろく)氏の略歴】

大正7年東京生まれ、昭和18年慶応義塾大学医学部卒。28年岩手県衛生研究所長。厚生省入り、医務局国立病院課勤務。45年千葉県衛生部長。46年環境庁発足時、初代の大気保全局長。62年財団法人エイズ予防財団専務理事。

表1 日本人が就労ビザ取得に際し、HIV陰性証明書を必要とする国

中国・モンゴル・インド・パプアニューギニア・イラク・サウジアラビア・アラブ首長国連邦・リビア・シリア・レバノン・クウェート・カタール・ギリシア・ウズベキスタン (14カ国)

(注) 1993年4月現在、住友生命総合研究所調べ。

表2 就労ビザ取得に際し、外国人にHIV陰性証明書の提出を求めているが、日本人を適用除外している国

韓国・台湾・フィリピン・パキスタン・エジプト・オマーン・ボリビア・キューバ・コスタリカ・ロシア・リトアニア・エストニア・ウクライナ・ブルガリア (14カ国)

(注) 1993年4月現在、住友生命総合研究所調べ。

「相談」の効用(続)

ユーズプランニング株式会社
代表取締役 宇角英樹

前回の「相談魔」課長は次のように言っている。「部下に相談を持ちかける場合、その内容は特に重要なことでなくともよい。部下との接触を増やし、コミュニケーションをする機会をつくること

目的だから、相談することはそのための手段になる。そうはいっても、無駄話をしているわけではない。話をしているうちに、そのなかでいろいろと仕事に関する話題が出てくる。仕事についての問題は数多くあるし、また部下は私に話したいことを持っている。あとは、その機会を作ってやること

い場合には、O・J・T(職場内教育)のような形になる。ただしこの場合でも、「お前はこの点を理解しているか」といった知識をためすかのような質問調では「活かす」ための役には立たない。

このように考えると、両者の間、心と心とがふれ合う関係を作り上げることができる。具体的に指示をすることがあれば、「相談調」にその事柄にふれていく。そうでな

下の場合には、O・J・T(職場内教育)のような形になる。ただしこの場合でも、「お前はこの点を理解しているか」といった知識をためすかのような質問調では「活かす」ための役には立たない。



①自分の意見に自信を持ち、相手の意見を用いる気はない。
②自分の意見に自信はあるが、相手の意見も十分に尊重する。
③自分の意見に自信がなく(または、意見がない)相手の意見を頼りにする。
④自分の意見に自信がなく、相手の意見を用いる気もない。

このように考え方で上司が部下と接していると、両者の間に、心と心とがふれ合う関係を作り上げることができる。具体的に指示をすることがあれば、「相談調」にその事柄にふれていく。そうでな

下の場合には、O・J・T(職場内教育)のような形になる。ただしこの場合でも、「お前はこの点を理解しているか」といった知識をためすかのような質問調では「活かす」ための役には立たない。

これは、なにかを指示することにあたって、「君はどう思うか……：自分はこう思うんだがどうか」という心で部下の考え方を聞くわけである。それも、相手が返事しやすい聞き方をするのも大切である。このような態度ができるためには、上司本人がその仕事にどう対応したら有効なのかについて、十分に分かっていることが必要である。

72年の伝統と信用を誇る
早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害
所長 弁理士 早川政名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 5月18日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所指導課(23-1181内線62番)にお申込み下さい。